

9 環状はく皮で垣根整枝ブドウの着色向上

ねらいと成果

ブドウ「ピオーネ」などの大粒系品種は樹勢が旺盛で、着色不良などの品質低下を招きやすい。本県で開発した垣根整枝は従来の平棚整枝に比べて、上を向く作業がほとんどなく、主な栽培管理が楽な姿勢で行えるものの、結果枝を斜め上方に誘引するため、樹勢が強くなりやすく、着色向上が課題となっている。

そこで、垣根整枝ブドウにおける環状はく皮処理が果実品質、枝の生育に及ぼす影響について検討した。その結果、環状はく皮処理は果実の着色を明らかに向上させた。また、処理により副梢の伸長・発生を抑制したが、樹勢の低下等の悪影響は認められなかった。

内容

供試樹は垣根整枝（根域制限、短梢せん定、ジベレリン処理による無核化栽培）の9年生ピオーネと8～10年生紅瑞宝を用いた。環状はく皮処理は満開後約35日に主幹部を、2～3cm幅でリング状に樹皮を剥ぎ取った。ピオーネは2000年、紅瑞宝は2001～2003年に処理した。なお、結実管理は主枝1mあたり約6房に調整し、1果房35粒程度に摘粒した。ピオーネの環状はく皮区は無処理区に比べて、果皮色が明らかに優れ、糖度も高かった（表1）。果房重、果粒重および酸含量は処理区間に大きな差がなかった。紅瑞宝についても、着色が無処理区に比べて優れた（表2、図）。ピオーネの結果枝当たりの総副梢長は環状はく皮区が無処理区に比べて明らかに短く、副梢本数も少なかった（表3）。また、紅瑞宝でもピオーネと同様の傾向であった。枝長、枝径および登熟率は両品種とも、処理区間に大きな差がなく、樹勢の低下は認められなかった。

1～2003年に処理した。なお、結実管理は主枝1mあたり約6房に調整し、1果房35粒程度に摘粒した。ピオーネの環状はく皮区は無処理区に比べて、果皮色が明らかに優れ、糖度も高かった（表1）。果房重、果粒重および酸含量は処理区間に大きな差がなかった。紅瑞宝についても、着色が無処理区に比べて優れた（表2、図）。ピオーネの結果枝当たりの総副梢長は環状はく皮区が無処理区に比べて明らかに短く、副梢本数も少なかった（表3）。また、紅瑞宝でもピオーネと同様の傾向であった。枝長、枝径および登熟率は両品種とも、処理区間に大きな差がなく、樹勢の低下は認められなかった。

普及上の注意事項

環状はく皮処理は切り出しナイフ等を用いて、形成層が残らないよう樹皮を剥ぎ取り、はく皮部はビニルテープ等で覆って保護し、癒合を促す。処理は樹勢が強い樹を対象とし、収穫適期は着色だけでなく食味で判定して早取りにならないよう注意する。

福井 謙一郎（加西普及センター・(旧園芸部)）

表1 環状はく皮処理が垣根整枝「ピオーネ」の果実品質に及ぼす影響(2000)

試験区	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色 ¹⁾	糖度 (Brix)
環状はく皮	571	14.2	8.3	20.2
無処理	591	15.5	6.7	19.3
有意性 ²⁾	n.s.	n.s.	**	*

1) 農水省旧果樹試験基準のカラーチャート値（数字が大きいほど着色良好）

2) **, *はそれぞれ1%, 5%で有意

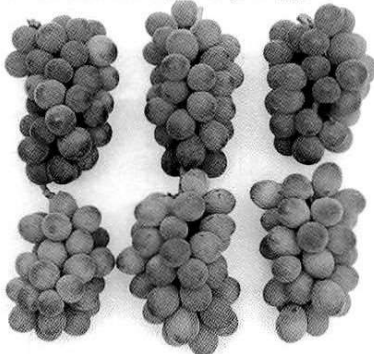


図 垣根整枝「紅瑞宝」の環状はく皮処理果（上段）と無処理果（下段）

表2 環状はく皮処理が垣根整枝「紅瑞宝」の果実品質に及ぼす影響(2001～2003)

試験区	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色 ¹⁾	糖度 (Brix)
環状はく皮	373	11.1	4.2	18.6
無処理	360	11.3	2.6	18.2
有意性 ²⁾	n.s.	n.s.	*	n.s.

1) 表1と同じ

2) *は5%で有意

表3 環状はく皮処理が垣根整枝「ピオーネ」の枝の生育に及ぼす影響(2000)

試験区	枝長 (cm)	枝径 (mm)	登熟率 (%)	総副梢長 (cm) ¹⁾	副梢本数
環状はく皮	146	12.7	94	44	1.9
無処理	142	12.0	90	117	2.8
有意性 ²⁾	n.s.	n.s.	n.s.	**	*

1) 総副梢長は1結果枝当たり

2) **, *はそれぞれ1%, 5%で有意